

令和3年度 三好市立学校評価報告書

学校名(三好市立下名小学校)

1 総括評価

評価分野	自己評価 (平均値)	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 学校経営及び学校運営に関する評価	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領に基づき、時代の流れに合った教育課程が完成し、教育改革を進めながら学校経営・運営を進めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会のスタートに伴い、学校経営に関しての説明がなされ、地域とともにある学校づくりの方針が理解できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の活動を軌道に乗せ、地域学校協働活動の新しい試みを具現化していきたい。
② 教育目標及び教育計画に関する評価	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での教育計画の見直しを行い、小規模校の強みを生かした教育課程・教育活動の実施に取り組み、教育目標の達成が概ねできた。評価でも肯定的な意見が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程が教育計画に基づき、概ね予定どおり実施されていて良かった。地域も参加・協力したかったが、コロナ禍では仕方ないことであった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも地域や保護者の期待に添えるように、また、ビジョンを明確にした教育目標を設定し、改革を進めていく。
③ 主要な教育活動に関する評価	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的・協働的な教育活動ができ、児童・保護者・教職員ともに高い評価を得ることができた。複式学級解消をはじめとし、充実した教職員集団により実現できたと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動が制限される中でも、学校の取組や子供たちの活動がメディアで紹介され、特色ある教育活動が実践されていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度は、複式学級による教育活動の実践を余儀なくされる。少数の教職員体制になるが、活動の充実に向けより協働体制を整えていく。
④ 保護者や地域との連携等に関する評価	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や保護者の参加に制約はあったが、保護者・地域との連携という評価項目では、高い評価を得た。コロナの影響を最小限に抑えつつ、十分な事前協議をした結果だと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人的交流が難しかったが、生き生きと活動している様子が見られた。早く交流の機会を増やしていきたい。また、HPの情報発信で、学校の活動がよくわかったという評価であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者とは、対面での日常の情報交換を重視しながら、信頼関係を高めていきたい。地域とは、学校運営協議会を中心に、具体的な活動の実施に努めたい。
⑤ その他、上記以外に関する評価(特別支援教育の取組)	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級の児童の支援に関しては、個の特性に合わせた取組が実践された。外部機関との連携をとおして、教育相談の機会も多く持てた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが安心・安全に学校生活を送ることができていることが一番である。地域も、子供たちの支援に携わり、成長を見守り協力していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度、支援学級は廃級になるが、個々に支援が必要な児童の特性に応じて、きめ細かな指導支援体制づくりに努めていきたい。

評価基準については、次の通りとする。

評価基準 4=達成度が 90～100 %
 3=達成度が 70～ 90 %
 2=達成度が 50～ 70 %
 1=達成度が 50% 未満